

株式会社島津製作所
(東証プライム市場：証券コード7701)

2026年3月期 中間期決算説明会

代表取締役社長 CEO 山本靖則

2025年11月10日

中間期業績 増収増益

売上高は5期連続で過去最高

- ・【売上高】 **2,563億円(前期比+2%)**
- ・【営業利益】 **316億円(前期比+4%)**

セグメント別

- ・計測は増収増益 / 売上高過去最高。重点機種*も売上高過去最高
- ・航空は増収大幅増益 / 売上高・営業利益とも過去最高を更新
- ・医用、産業は減収減益

地域別

- ・日本：増収 / 計測の液体クロマトグラフ（LC）と質量分析システム（MS）が好調
- ・北米：増収 / 計測のMS、医用のX線TVシステムが好調
- ・中国：減収 / 産業のターボ分子ポンプ（TMP）は大幅増

2026年3月期 業績予想

米国関税の世界経済・当社事業への影響と為替レートを見直し、上方修正

- ・【売上高】 **5,450億円(前期比+1.1%) (5月公表値+300億円)**
- ・【営業利益】 **720億円(前期比+0.4%) (5月公表値+140億円)**

*計測重点機種：液体クロマトグラフ(LC)、質量分析システム(MS)、ガスクロマトグラフ(GC)

01 決算概要

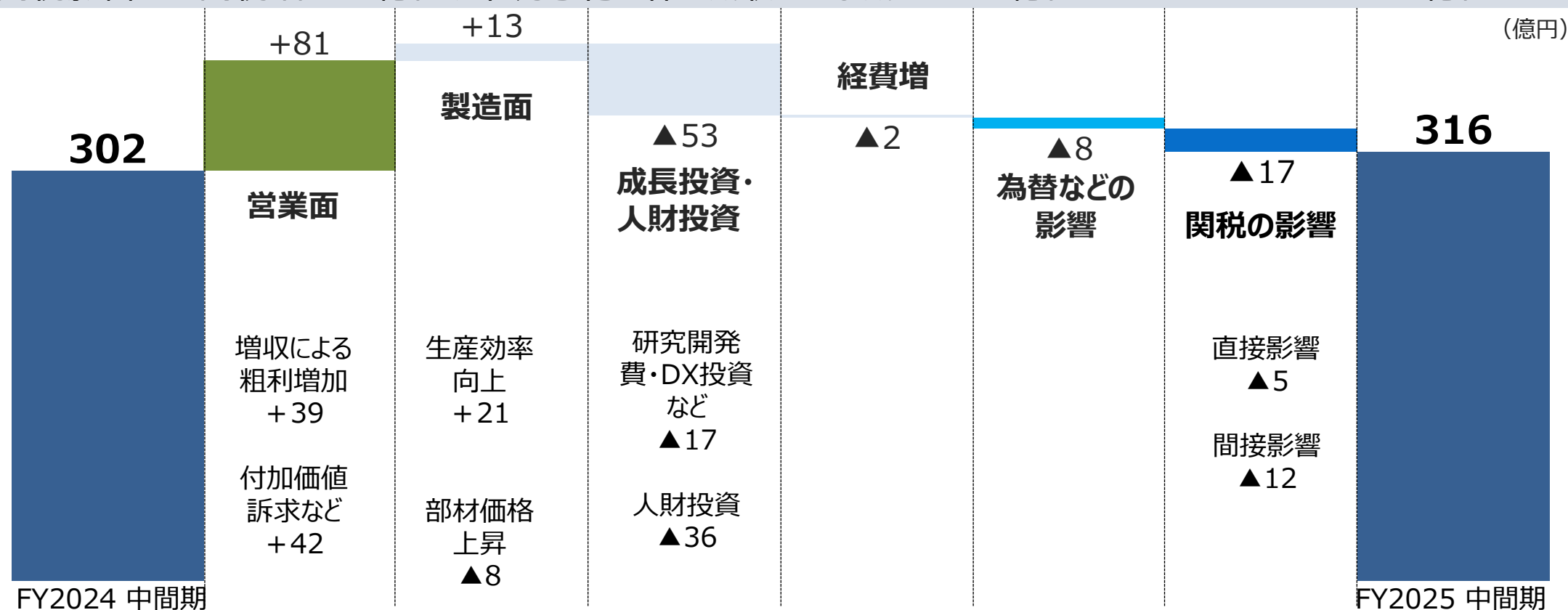
| | 単位：億円 | 中間期(4月-9月) | | 前年同期比 | |
|-------|-----------------|------------|--------|--------|------|
| | | FY2024 | FY2025 | 増減額 | 増減率 |
| 業績 | 売上高 | 2,512 | 2,563 | +51 | +2% |
| | 営業利益 | 302 | 316 | +14 | +4% |
| | 営業利益率 | 12.0% | 12.3% | +0.3pt | |
| | 経常利益 | 284 | 313 | +29 | +10% |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 213 | 236 | +23 | +11% |
| 為替 | 平均為替レート：米ドル（円） | 152.68 | 146.08 | ▲6.60 | ▲4% |
| | ユーロ（円） | 165.98 | 168.10 | +2.12 | +1% |
| 研究開発費 | | 135 | 143 | +9 | |
| 設備投資額 | | 111 | 119 | +8 | |
| 減価償却費 | | 97 | 99 | +2 | |

連結 / 営業利益増減要因

【営業利益】 316億円(前期比+4%)

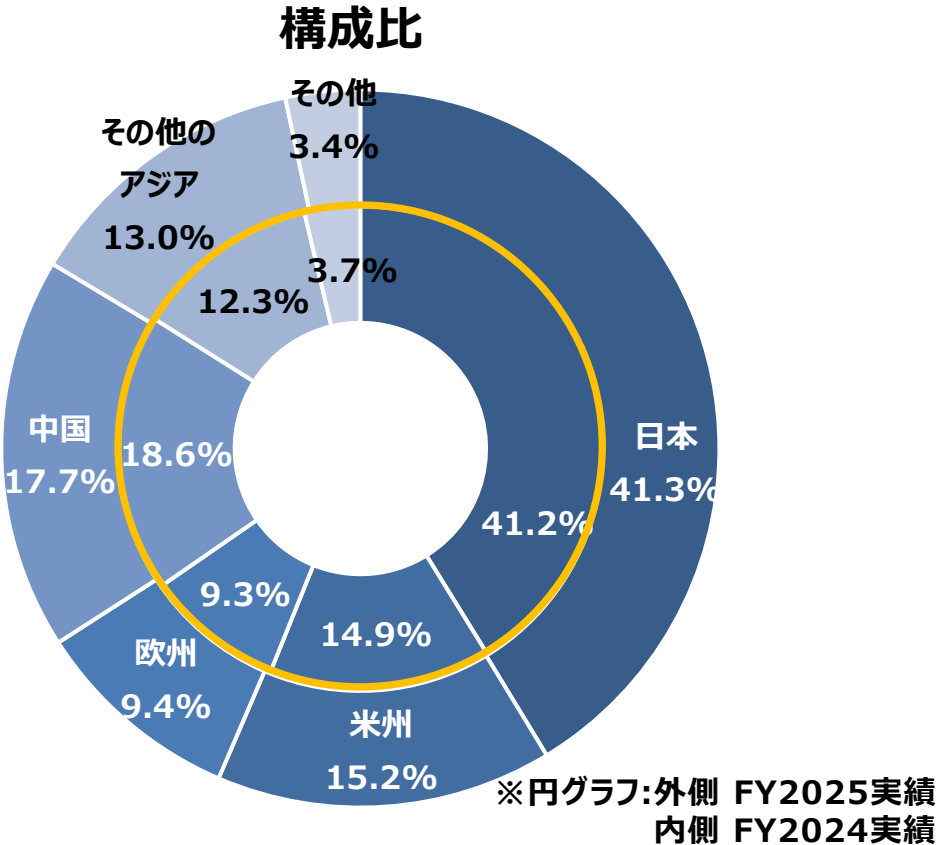
【営業利益率】 12.3% (対前期+0.3pt)

| | | |
|--------|-----------------------------------|-------|
| ■ 営業面 | : 増収や付加価値訴求により利益増加 | +81億円 |
| ■ 製造面 | : 部材価格上昇分を生産効率向上によるコストダウンが上回り利益増加 | +13億円 |
| ■ 成長投資 | : 研究開発費などに17億円、人財投資に36億円 | ▲53億円 |
| ■ 関税影響 | : 関税増▲5億円、市況悪化に伴う減収による減益▲12億円 | ▲17億円 |



- 売上高：中国を除く主要地域で増収。
- 日本：重点機種（液体クロマトグラフ、質量分析システム、ガスクロマトグラフ）と試験機が増加
- 海外：米州、その他アジアで質量分析システムが増加。 海外売上高比率は58.7%、対前期0.1pt減

| 単位 億円 | 売上高 | | | | 構成比 | | |
|----------|---------------|---------------|------------|------------|---------------|---------------|-----------|
| | FY2024 中間期 | FY2025 中間期 | 前期比 増減額 | 前期比 増減率 | FY2024 中間期 | FY2025 中間期 | 前期比 増減 |
| 日本 | 1,034 | 1,058 | +24 | +2% | 41.2% | 41.3% | +0.1pt |
| 海外 | 1,478 | 1,505 | +27 | +2% | 58.8% | 58.7% | ▲0.1pt |
| 米州 | 374 | 388 | +14 | +4% | 14.9% | 15.1% | +0.2pt |
| 欧州 | 233 | 242 | +9 | +4% | 9.3% | 9.4% | +0.2pt |
| 中国 | 466 | 453 | ▲13 | ▲3% | 18.6% | 17.7% | ▲0.9pt |
| その他のアジア | 310 | 334 | +24 | +8% | 12.3% | 13.0% | +0.7pt |
| その他 | 93 | 86 | ▲7 | ▲8% | 3.7% | 3.4% | ▲0.3pt |



セグメント別損益

- 計測：増収増益 /売上高は**5期連続で過去最高**を更新。
- 医用：減収減益 /期初の受注残高が少なく、売上高・営業利益とも減少。2 Qは増収増益に回復
- 産業：減収減益 /TMPのリカーリング事業と油圧機器は順調に増加。半導体製造装置向けTMPが弱含み
- 航空：増収増益 /売上高・営業利益・営業利益率が**2期連続で過去最高**を更新

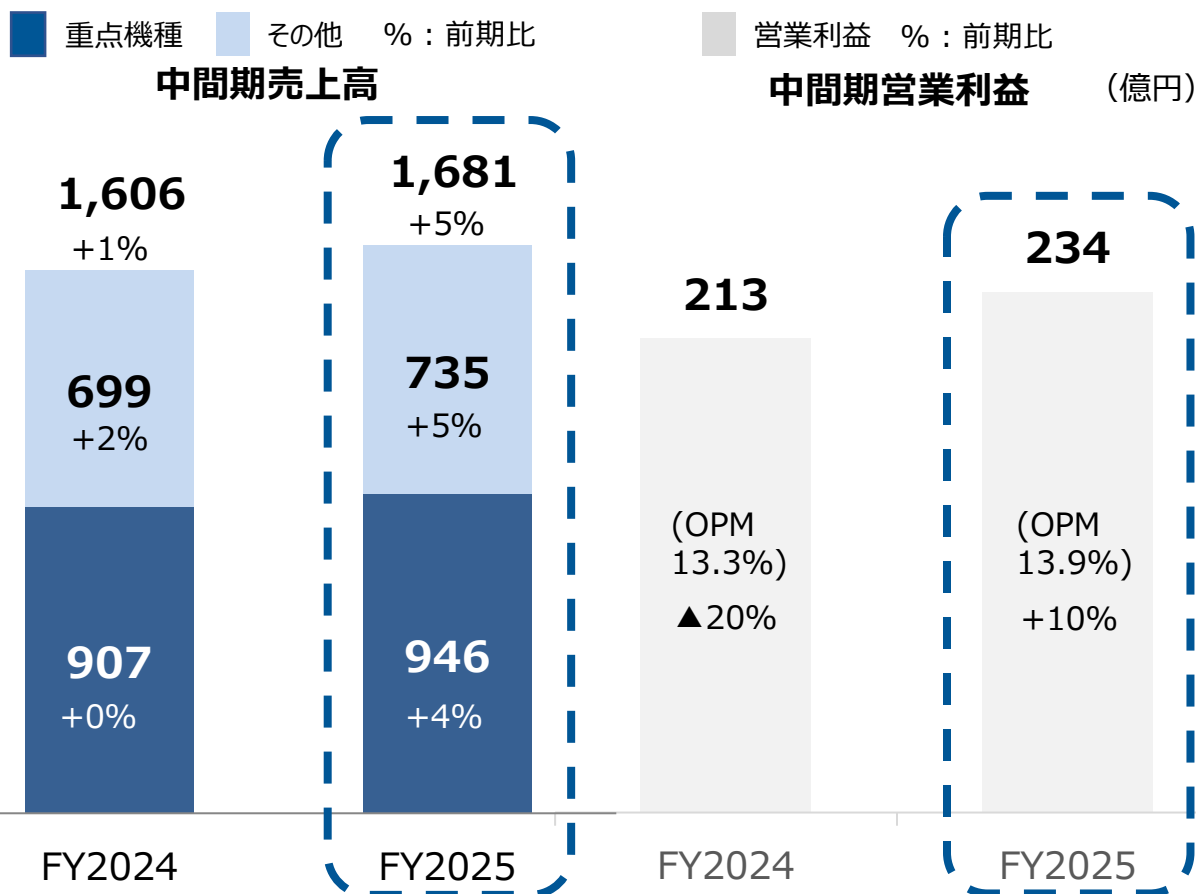
| 単位 億円 | 売上高 | | | 営業利益 | | | 営業利益率 | |
|----------|---------------|-------|-----|---------------|-------|------|---------------|--------|
| | FY2025 中間期 | 前年同期比 | | FY2025 中間期 | 前年同期比 | | FY2025 中間期 | 前年同期比 |
| | | 増減額 | 増減率 | | 増減額 | 増減率 | | 増減 |
| 合計 | 2,563 | +51 | +2% | 316 | +14 | +4% | 12.3% | +0.3pt |
| 計測機器 | 1,681 | +75 | +5% | 234 | +21 | +10% | 13.9% | +0.7pt |
| 医用機器 | 336 | ▲4 | ▲1% | 13 | ▲3 | ▲21% | 3.8% | ▲0.9pt |
| 産業機器 | 329 | ▲31 | ▲9% | 46 | ▲7 | ▲13% | 14.0% | ▲0.7pt |
| 航空機器 | 182 | +2 | +1% | 36 | +12 | +49% | 19.6% | +6.3pt |

計測機器 / 売上高・営業利益

【増収増益】 売上高が5期連続で過去最高を更新。リカーリング売上高は前期比**5%増加**

■ 売上高 : 重点機種は新製品効果などで、その他機種も研究開発用途で増加し、過去最高を更新

■ 営業利益 : 売上増加による利益増で増益。営業利益率も13.9%で、対前期+0.7pt向上



重点機種 → **売上高946億円**

- ・ 前期比+4%と堅調に推移。新製品効果でMSが増加
- ・ 日本で医薬・食品市場や大学向けにLCやMSが増加
- ・ 北米で臨床検査向けにMSが増加
- ・ 中国で医薬向けにMSが増加

その他 → **売上高735億円**

- ・ 官庁・大学向けに表面観察システムが好調

リカーリング → **売上高 665億円 (前期比+5%)**

- ・ リカーリング売上高比率 **40%** (対前期 同率)
- ・ 消耗品ラインナップ拡大に加え、米国のサービス会社連結効果でメンテナンス事業も増加

※ 重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

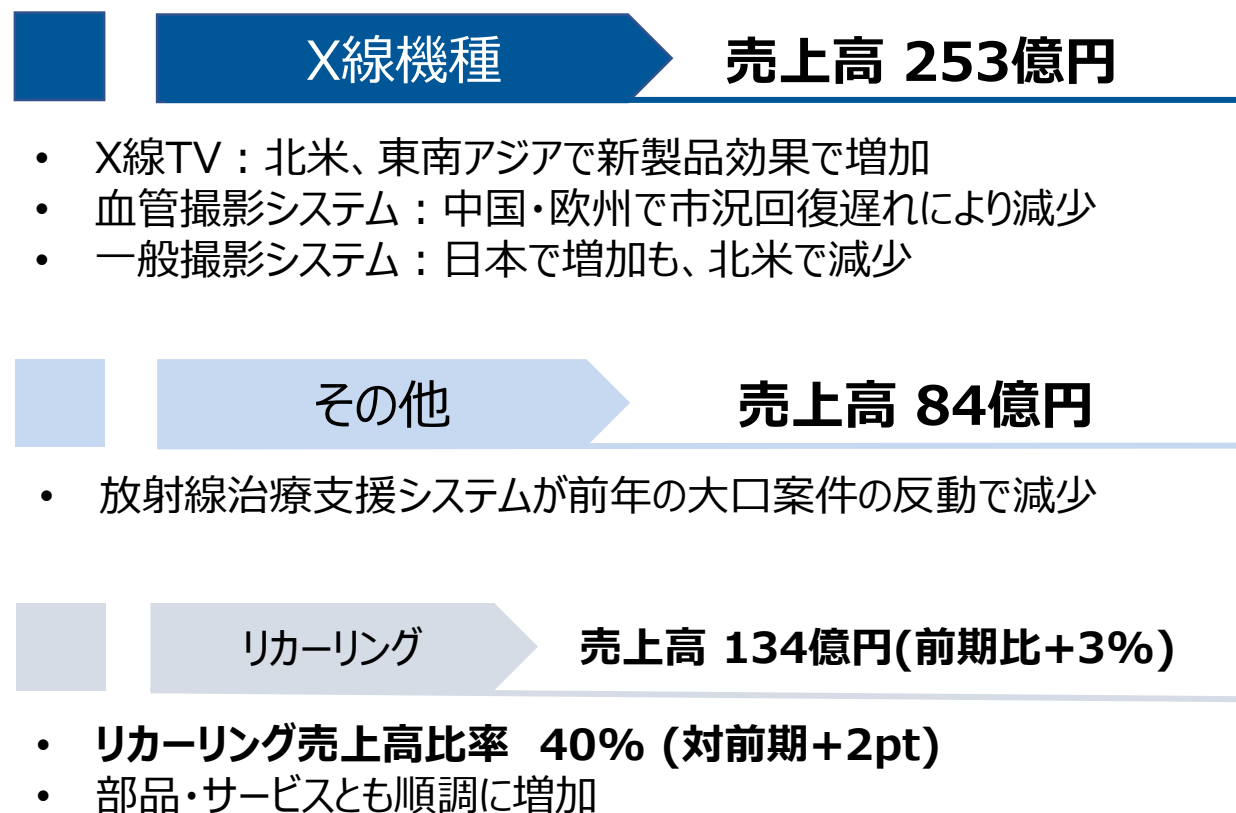
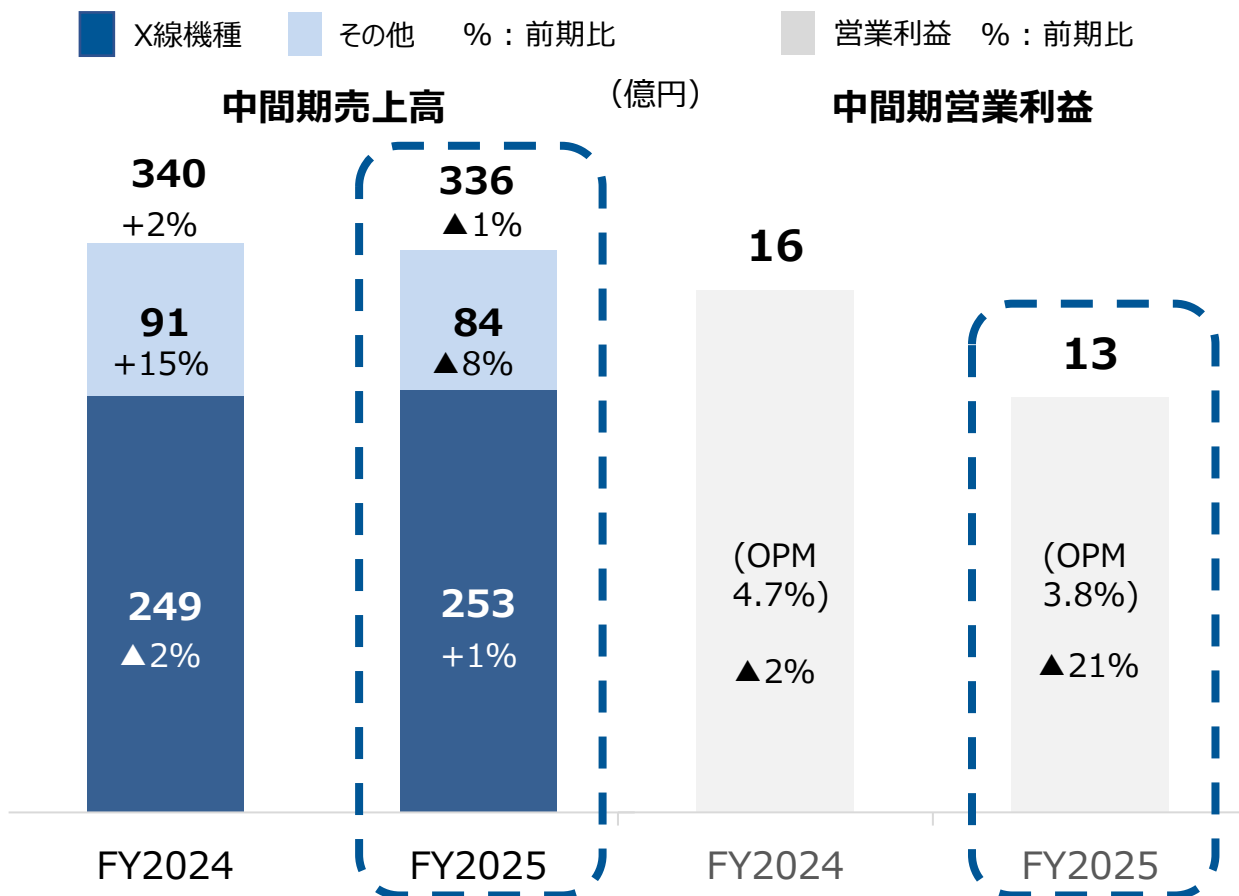
- 中国を除く主要地域で成長
- 国内は、医薬、食品、大学、電機市場向けに多くの製品を展開し8%増加
- 北米で臨床検査向け、その他アジアで官庁・大学・医薬・食品向けにMSが増加

| 単位：億円 | FY2024 | FY2025 | 前年同期比 | | 概況 |
|-------------|--------|--------|-------|-----|--|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| 日本 | 559 | 605 | +46 | +8% | ・ 医薬、食品、大学市場向けにLCやMSが増加 ・ 電機市場向けに試験機が増加 |
| 海外 | 1,047 | 1,077 | +30 | +3% | ・ 海外売上高比率は65.2%（▲1.2%） |
| 北米 | 185 | 199 | +14 | +8% | ・ 臨床検査向けに北米R&Dセンターで開発したMSが増加 ・ 買収したマルチベンダーサービス会社の業績も貢献 |
| 欧州 | 190 | 204 | +14 | +8% | ・ 化学市場向けで小型・高性能が評価されガスクロマトグラフが増加 ・ 官庁大学向けにLCやMSが増加 |
| 中国 | 348 | 333 | ▲16 | ▲4% | ・ 政府の経済対策により官公庁・大学の需要は回復傾向 ・ 民間市場はMSが増加したものの市況回復遅れの影響を受けて減少 |
| その他の アジア | 226 | 246 | +20 | +9% | ・ 東南アジア、韓国で官庁・大学向けにMSが増加 ・ インドでは医薬、食品向けでMSが増加 |

医用機器 / 売上高・営業利益

【減収減益】 期初の受注残高が少なく、売上高、営業利益とも減少。2 Qは増収増益に回復

- 売上高 : 中国・欧州では市況回復が見られず減少。北米、東南アジアでは、X線機種が増加し堅調に推移
- 営業利益 : 人件費の増加を売上で補えず減益

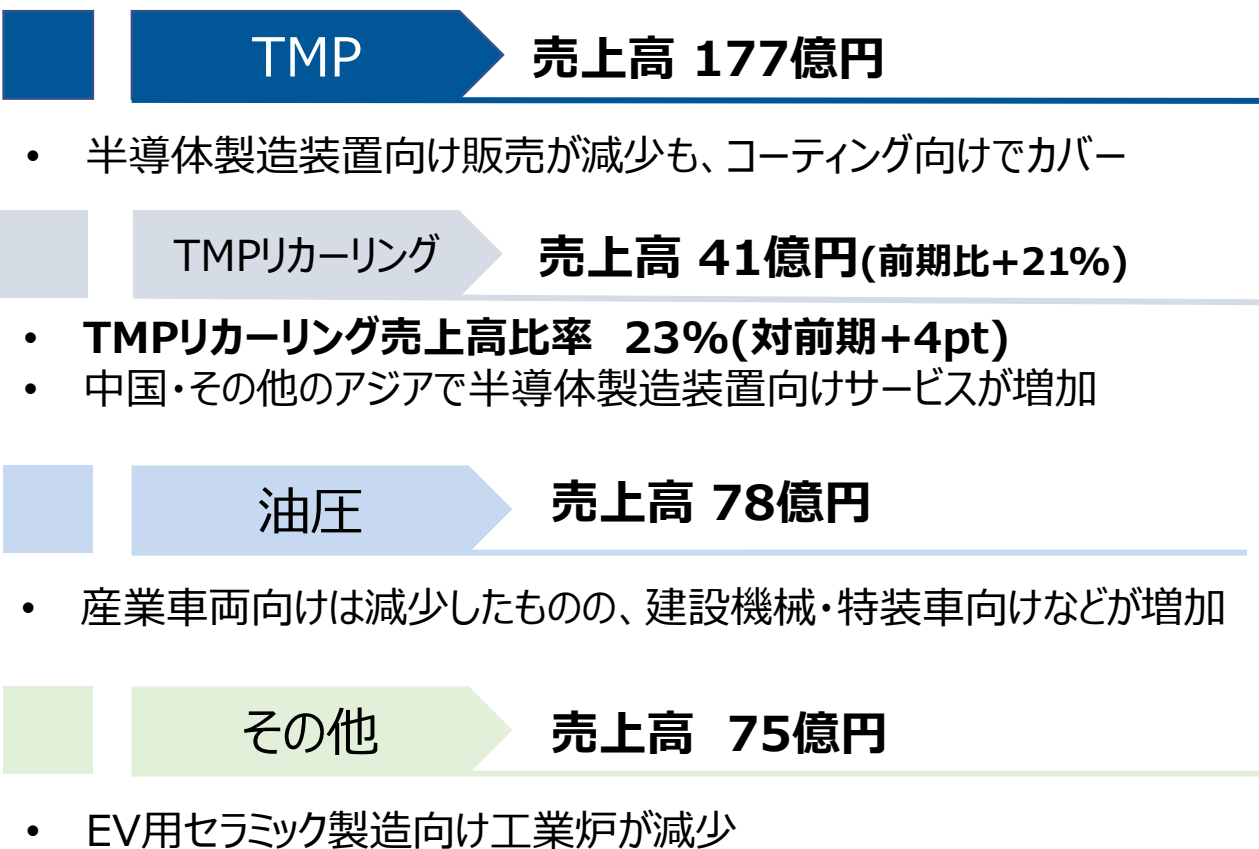
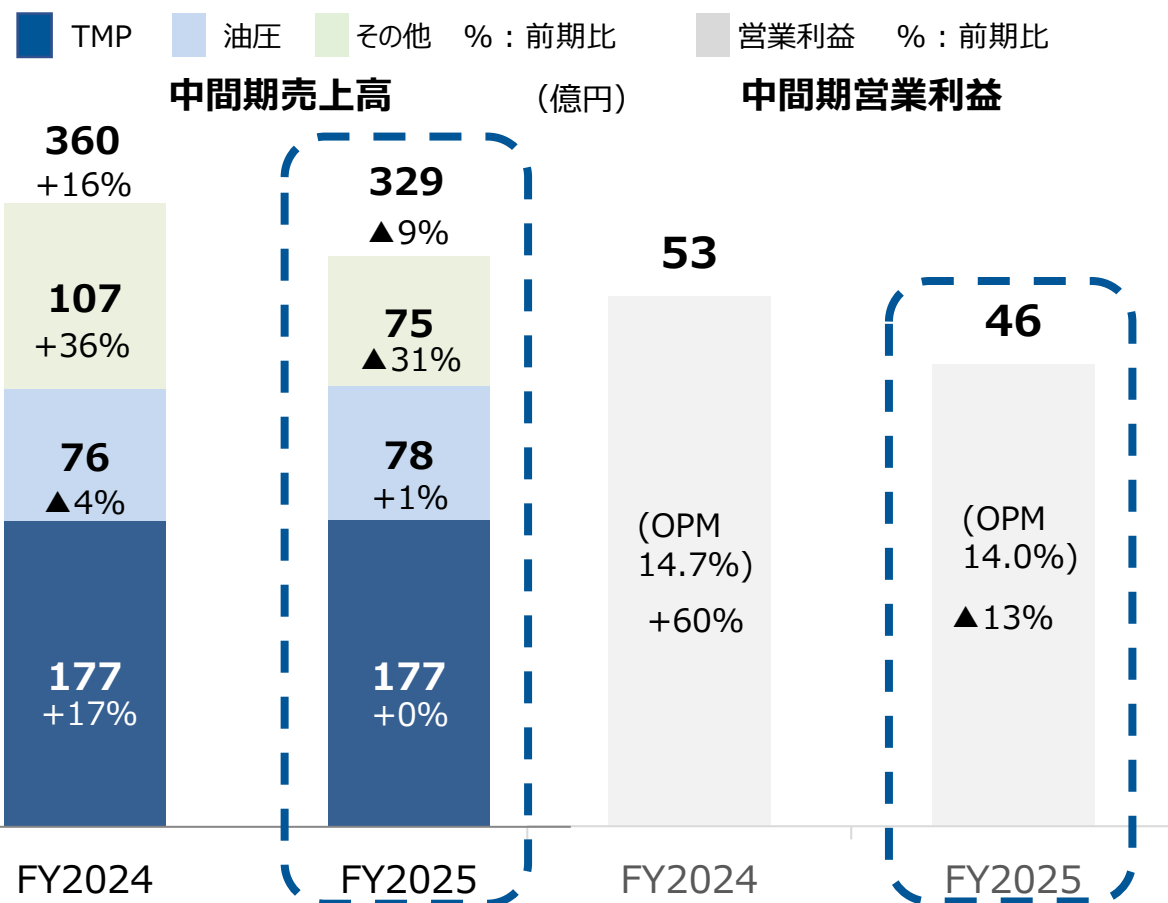


産業機器 / 売上高・営業利益

【減収減益】 EV用セラミックス製造向け工業炉が減少し、TMPの伸びが低く補えずに減収減益

■ 売上高 : TMP(前期比+1億円)、油圧 (+1億円) は横ばい。工業炉他の事業が大幅減(▲32億円)

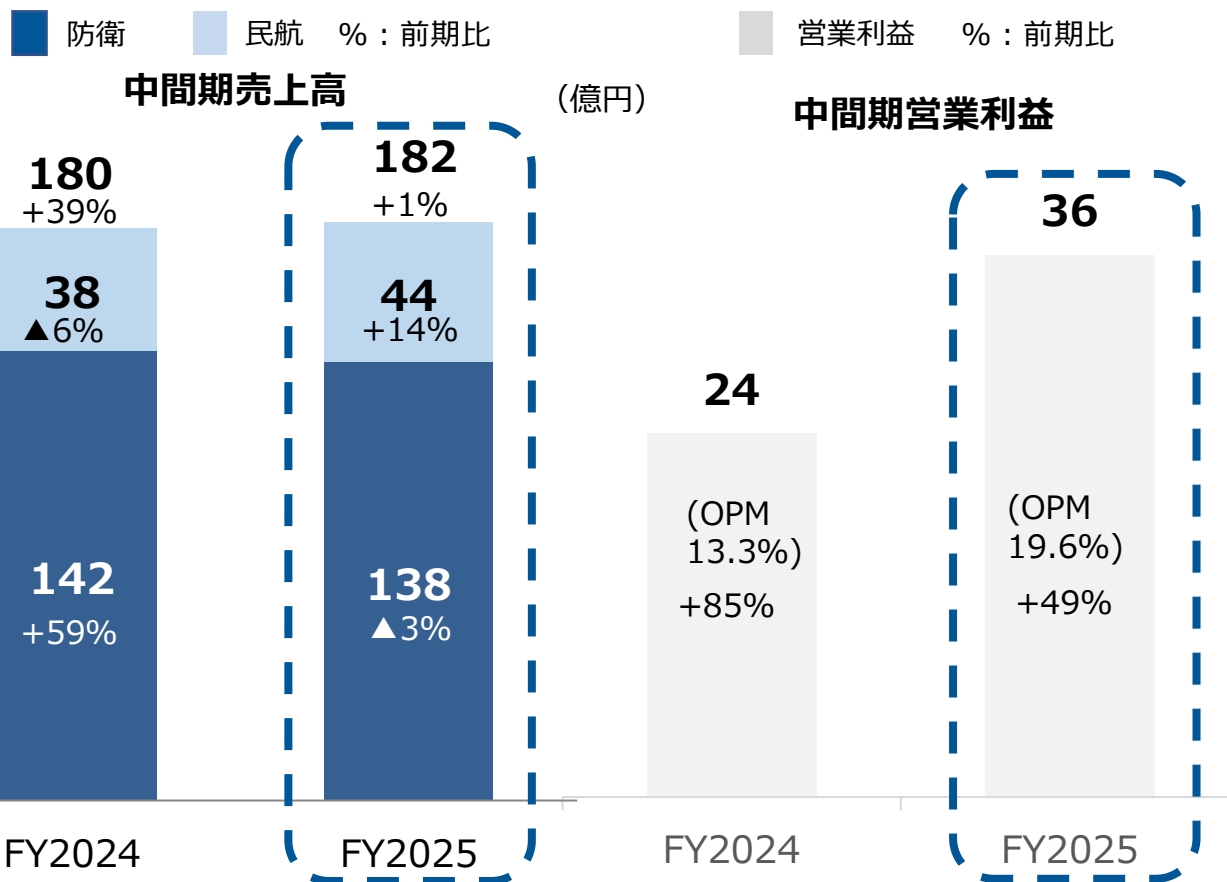
■ 営業利益 : 売上高減少により減益。 **TMPリカーリング事業**は前期比+21%と成長



航空機器 / 売上高・営業利益

【増収増益】 売上高・営業利益・営業利益率のすべてが2期連続で過去最高を更新

- 売上高 : 防衛向けは製造課題で減少(前期比▲3%)、民間航空機市場向けは増加(+14%)
- 営業利益 : 増収効果に加え、粗利率改善により大幅増益



防衛 売上高 138億円

- 政府の防衛力強化方針により需要は拡大したものの、サプライチェーンの一部に課題が生じて売上高が減少

民航 売上高 44億円

- 民間航空機向け搭載品や航空会社向け補用部品が増加

02 2025年度通期業績予想

2025年度通期業績予想

米国関税の世界経済・当社事業への影響と為替レートを見直し、業績予想を上方修正

- 売上高 5,450億円（対期初公表+300億円）
- 営業利益 720億円（対期初公表+140億円）

| | | | |
|-------|----------|-------------|----------------|
| 売上高 | 5,450 億円 | 対前期 + 60 億円 | 対期初公表 + 300 億円 |
| 営業利益 | 720 億円 | 対前期 + 3 億円 | 対期初公表 + 140 億円 |
| 経常利益 | 720 億円 | 対前期 0 億円 | 対期初公表 + 140 億円 |
| 当期純利益 | 540 億円 | 対前期 + 2 億円 | 対期初公表 + 90 億円 |

想定為替レート

米ドル：145円
ユーロ：165円

研究開発費

300 億円
対前期 対期初公表
+11 億円 +5 億円

設備投資

250 億円
対前期 対期初公表
+21 億円 -

減価償却

200 億円
対前期 対期初公表
+1 億円 -

米国関税の世界経済・当社事業への影響見直し

- 各国への関税率は期初公表時点からは引き下げ。日本の関税率は15%（8月7日から発動）
- 主な影響は ①市況悪化による影響（間接的影響） 売上高▲50億円 営業利益▲30億円
②米国子会社の関税増（直接的影響） 営業利益▲18億円
- 関税影響見込み額(見直し後)： 売上高▲50億円 営業利益▲48億円

| | 主な影響 | 期初想定影響額 (前期比) | 期初からの改善額 | 修正想定影響額 (前期比) |
|---|-----------------------|---|--|---|
| ① | 市況悪化に伴う売上減 (間接的影響) | 売上高 ▲250億円 営業利益▲150億円 グローバルな市況悪化を懸念 | 売上高 200億円 営業利益 120億円 グローバルに市況悪化懸念が緩和 | 売上高 ▲50億円 営業利益 ▲30億円 日本・北米・欧州・中国で関税影響が残る <div>□ 中間期影響額：売上高▲20億円、営業利益▲12億円</div> <div>□ 想定下期影響額：売上高▲30億円、営業利益▲18億円</div> |
| ② | 米国子会社の関税増 (直接的影響) | 営業利益 ▲30億円 | 営業利益 12億円 関税率の引き下げによるコスト減 | 営業利益 ▲18億円 <div>□ 中間期影響額：営業利益 ▲5億円</div> <div>□ 想定下期影響額：営業利益▲13億円</div> |
| | 合計 | 売上高 ▲250億円 営業利益 ▲180億円 | 売上高 200億円 営業利益 132億円 | 売上高 ▲50億円 営業利益 ▲48億円 <div>□ 中間期影響額：売上高▲20億円、営業利益▲17億円</div> <div>□ 想定下期影響額：売上高▲30億円、営業利益▲31億円</div> |

2025年度通期セグメント別業績予想

- 計測：増収増益 /ヘルスケア、グリーン、マテリアル市場での新製品拡販で、6期連続過去最高売上高を目指す
- 医用：減収減益 /アジア地域を除く各地で市況回復遅れを予想し、売上高・営業利益とも減少と見込む
- 産業：減収減益 /EV向けセラミックス製造用工業炉の苦戦を予想して、売上高・営業利益とも減少と見込む
- 航空：増収減益 /好調な需要を背景に増収を予想するが、防衛案件が増加することから営業利益は減少と見込む

| 単位: 億円 | 売上高 | | | 営業利益 | | | 営業利益率 | | |
|--------|--------|---------------|------------|--------|---------------|------------|--------|---------------|-----------|
| | FY2024 | FY2025 新予想 | 前期比 増減額 | FY2024 | FY2025 新予想 | 前期比 増減額 | FY2024 | FY2025 新予想 | 前期比 増減 |
| 合計 | 5,390 | 5,450 | +60 | 717 | 720 | +3 | 13.3% | 13.2% | ▲0.1pt |
| 計測機器 | 3,479 | 3,550 | +71 | 521 | 565 | +44 | 15.0% | 15.9% | +0.9pt |
| 医用機器 | 726 | 720 | ▲6 | 43 | 40 | ▲3 | 5.9% | 5.6% | ▲0.3pt |
| 産業機器 | 723 | 700 | ▲23 | 105 | 95 | ▲10 | 14.5% | 13.6% | ▲0.9pt |
| 航空機器 | 387 | 390 | +3 | 61 | 50 | ▲11 | 15.7% | 12.8% | ▲2.9pt |

計測機器／地域別の取り組み内容と通期見込み

各地域で、動きのある市場、顧客に、ソリューション提供 と 新製品の拡販を展開

- 北米・その他アジア地域では、市場別顧客別に開発投資・設備投資が動くことを期待。ソリューション提案で事業拡大
- 日本は開発投資を期待し、新製品を展開。 欧州、中国は踊り場と見込む

| 地域 | 取り組み内容 | 通期売上高 前年比 |
|----------|--|-----------|
| 連結 | 動きのある市場、顧客に、ソリューション提供と新製品拡販を展開 | + 4 - 6 % |
| 日本 | <ul style="list-style-type: none"> 投資の活発な医薬市場やPFAS規制市場、GMP(適正製造規範)対応が進む機能性食品市場、GX関連市場、補正予算で好調な官庁/大学市場の需要を獲得 | + 4 - 6 % |
| 北米 | 18 ページ参照 | +10-13% |
| 欧州 | <ul style="list-style-type: none"> 政治・経済不安の中、回復傾向の官庁/大学市場への取り組みを強化 好調な臨床市場への需要の獲得 グリーン市場のエネルギー・リサイクル分野への取り組みを強化 | +0-3% |
| 中国 | 18 ページ参照 | +0-3% |
| その他のアジア | <ul style="list-style-type: none"> 自国生産強化や規制対応強化など好調な医薬市場への取り組みを強化 輸出対応により拡大が予想される食品品質管理分野への取り組みを強化 韓国の半導体関連市場への取り込みを強化 | + 10-13% |
| (内数) インド | <ul style="list-style-type: none"> 製薬・化学・食品・受託分析市場では、需要が旺盛で高い成長率を見込む | +10-13% |

計測機器/北米・中国の取り組みと通期見込み

- 北米：アカデミア・製薬・グリーン関係で厳しい状況を予想するが、動きのある顧客ヘトータルソリューション提供を強化
- 中国：民需は回復期待は薄いが、薬典改訂の効果等があり製薬/CxO市場は回復傾向と見込む
官需は政府の経済対策により動きが出ているが、一部入札遅延も見られ、本格回復時期は見通せず

北米：通期売上高 前年比 +10-13% (為替影響を除く)

| | |
|------------------|--|
| ヘルスケア ＜製薬・臨床＞ | <ul style="list-style-type: none">□ 中小製薬企業に新製品を展開□ 北米で開発した多検体処理LCMSシステムを臨床市場で展開□ マルチベンダーサービスを強化し、販売とのシナジーを追求 |
| グリーン ＜環境・GX＞ | <ul style="list-style-type: none">□ PFAS需要に向けLCMS新製品を展開□ 回復が期待されるLiB市場向けに、各種検査装置を展開 |
| アカデミア・官庁 | <ul style="list-style-type: none">□ 引き続き停滞する見込みの中、新素材開発向けに 試験機、表面観察装置のほか各種分析装置を展開 |

北米R&Dセンター

- 医薬・臨床関連中心の開発センター
- 製薬、バイオテック企業との共同研究を加速
- 現在進行中の開発テーマは16件

中国：通期売上高 前年比 +0-3% (為替影響を除く)

| | |
|---|--|
| 政府の経済対策 大規模な設備更新と消費財の 買い替えを推進する行動計画 (～2027年) | <ul style="list-style-type: none">□ 昨年度の受注残案件を売上展開□ アカデミア中心に中間期受注約10MUSD□ 下期以降、アカデミアに加えて、税関や各種検査機関でも動く可能性があり、分析相談/サービス支援を強化 |
| ヘルスケア ＜製薬＞ | <ul style="list-style-type: none">□ 10月施行の薬典改訂に伴う新規/更新需要が拡大 中間期受注は10MUSD強□ 薬典改訂対応として顧客別アプリケーションを提供。継続する需要へ対応□ 需要の拡大するバイオ医薬市場向けにLC、MSを拡販 |
| グリーン＜環境＞ 生態環境監測標準体系を公布 PFASを含む14物質が対象 | <ul style="list-style-type: none">□ PFAS関連の国家標準制定に向けて、政府系検査機関の分析メソッド開発支援を強化 |

新製品上市の状況（2Qリリース）



ベストセラーモデルの新製品

一体型液体クロマトグラフ i-Series LC-2070/2080

2025年9月発売

- 分析前の装置診断を自動化
ダウンタイムを予防し安定分析を強力にサポート
- カラム管理機能でデータ信頼性を向上
- エコフレンドリー仕様
リサイクル樹脂を使用、消費電力を削減

ターゲット市場：製薬（品質管理部門） など



新型ガスクロマトグラフ FluxEdge GC Systems

2025年9月発売

少量・高速・高信頼性分析を提供



- 数mL(1/30程度)のサンプルで測定可能
- 約1/3の短時間分析
- 数百倍の新開発耐久性小型バルブ使用
- 高再現性、低キャリーオーバーで、メンテナンスレスも実現（すべて当社比）

ターゲット市場：新エネルギー・電池・触媒関連など産業分野



高速液体クロマトグラフィ分析装置 Nexera CL LCMS システム

2025年10月発売

臨床市場向け 新製品

- 新生児マススクリーニングや血中の薬物モニタリングなど、需要が広がる臨床市場向けに開発
- 「多成分同時分析」「抗体間の交差反応が起きない精密分析」
- 従来の産業/研究用途向け製品の性能やメンテナンス性を継承

ターゲット市場：臨床（血液などの分析）

産業用最上位ブランドの新製品

マイクロフォーカスX線CTシステムinspeXio 7000

2025年10月発売



- 当社比50倍の高速演算処理で高速撮影
- 高コントラストで大画面の撮影
- 低密度材料も、X線が透過しづらい材料も新X線発生器で高画質な観察が可能
- Φ400mm高さ300mm 重さ20kgまで対応

ターゲット市場：電池・電子部品関連など産業分野

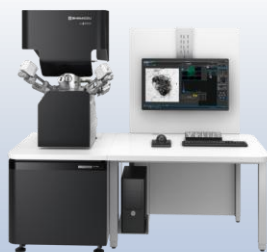
ご参考：8月までにリリースした新製品



高速液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-8065XE
2025年8月発売

- 品質管理や環境規制の厳格化に伴い、顧客の高感度・多成分一斉分析のニーズに対応
- 超高速測定技術と抜群の安定性により顧客の生産性向上に貢献

ターゲット市場：製薬・臨床・食品・受託分析・化学
公的機関・大学 など

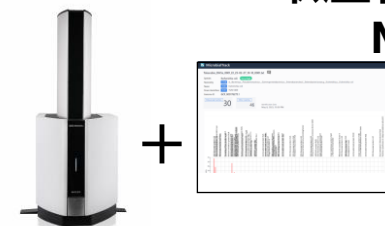


走査電子顕微鏡
SUPERSCAN SS-3000
2025年4月発売
SUPERSCAN SS-2000
2025年5月発売

* チェコTESCAN社との共同ブランド

- ナノ領域の高分解能観察に加え、材料物性評価を含めた幅広い研究開発用途に対応
- 撮影条件の自動調整により業務効率化にも貢献

ターゲット市場：産業分野・公的機関・大学 など



MALDI-TOFMS用
微生物同定ソフトウェア
MicrobialTrack
2025年5月発売

- 感染症対策分野での戦略製品
- 全世界で高まる微生物同定向け検査需要に対応

ターゲット市場：臨床・受託分析・大学 など



回診用X線撮影装置
MobileDaRt Evolution MX9 Version
2025年4月発売

- 当社回診用X線撮影装置のフラッグシップモデル
- セカンドモニタと3Dカメラで検査効率化

ターゲット市場：先進国の病院



精密万能試験機
オートグラフ AGS-Vシリーズ
2025年5月発売

- 高精度で効率性と操作性を兼ね備えた普及機モデル
- 自動車用部品や電池材料などの研究開発・品質管理に貢献

ターゲット市場：輸送機・化学・電機/電子 など



マイクロプラスチック向け
粒子解析システム
2025年8月発売

- 社会課題であるマイクロプラスチックの分析に最適なシステム
- * 技術指導：愛媛大学片岡智哉准教授

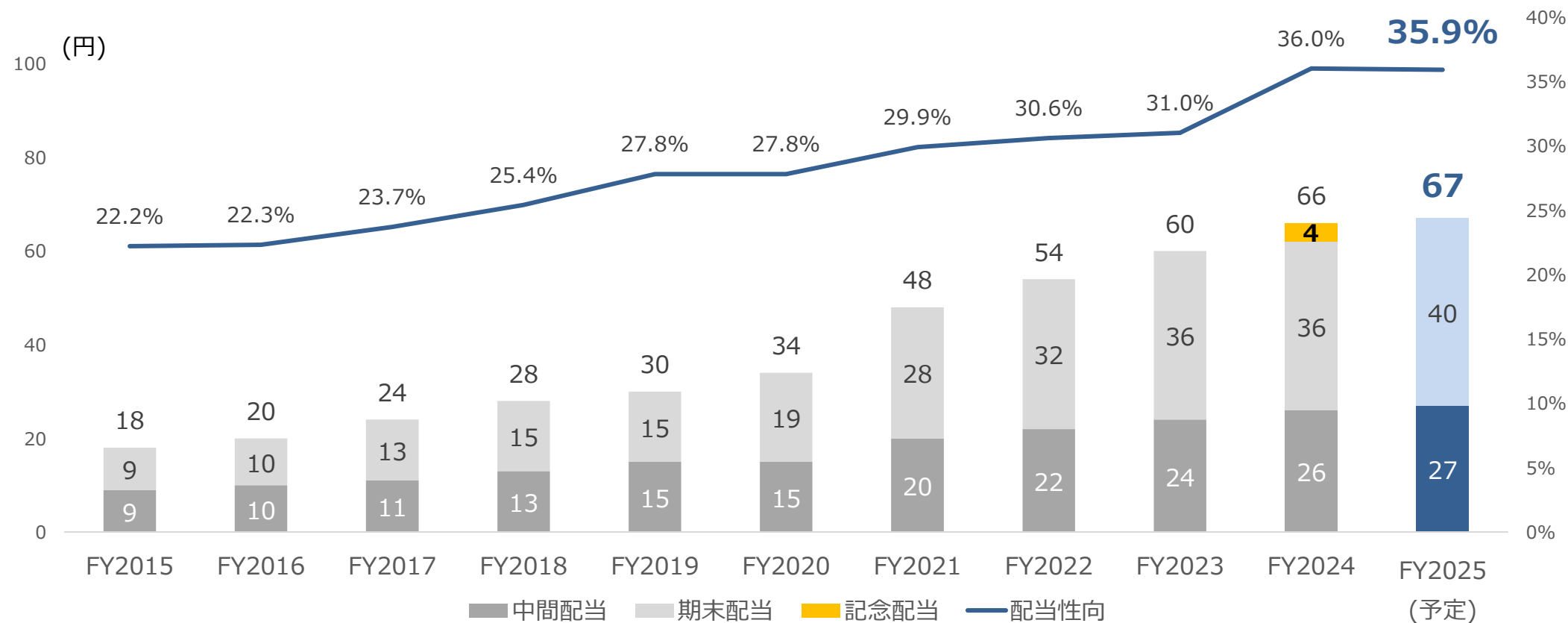
ターゲット市場：産業分野・公的機関・大学 など

株主還元

方針：配当性向30%以上を維持し、継続的な株主還元を実施する予定

■ 中間配当：前年同期より1円増配の**27円**

■ 年間配当：12期連続増配となる**67円を予定**（期末配当は40円を予定） 配当性向：35.9%





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

連結業績（7-9月）

| | 単位：億円 | 第2四半期(7月-9月) | | 前年同期比 | |
|----|-----------------|--------------|--------|--------|------|
| | | FY2024 | FY2025 | 増減額 | 増減率 |
| 業績 | 売上高 | 1,343 | 1,380 | +37 | +3% |
| | 営業利益 | 193 | 194 | +1 | +1% |
| | 営業利益率 | 14.3% | 14.1% | ▲0.3pt | |
| | 経常利益 | 147 | 200 | +53 | +36% |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 113 | 157 | +44 | +39% |
| 為替 | 平均為替レート：米ドル（円） | 149.43 | 147.53 | ▲1.90 | ▲1% |
| | ユーロ（円） | 164.03 | 172.37 | +8.34 | +5% |
| | 研究開発費 | 66 | 71 | +5 | |
| | 設備投資額 | 69 | 65 | ▲4 | |
| | 減価償却費 | 48 | 49 | +1 | |

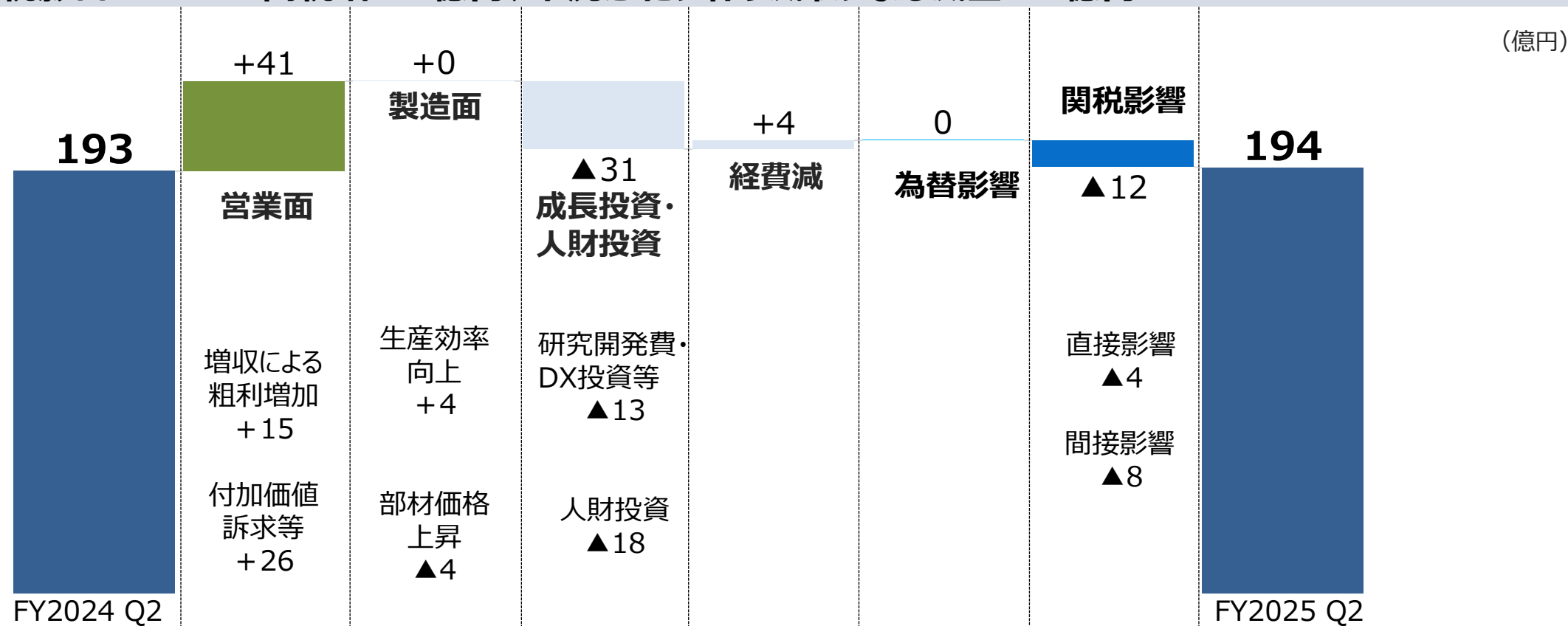
セグメント別損益（7-9月）

| 単位 億円 | 売上高 | | | | 営業利益 | | | | 営業利益率 | | |
|----------|--------|--------|-------|------|--------|--------|-------|------|--------|--------|--------|
| | FY2024 | FY2025 | 前年同期比 | | FY2024 | FY2025 | 前年同期比 | | FY2024 | FY2025 | 前年同期比 |
| | | | 増減額 | 増減率 | | | 増減額 | 増減率 | | | 増減 |
| 合計 | 1,343 | 1,380 | +37 | +3% | 193 | 194 | +1 | +1% | 14.3% | 14.1% | ▲0.3pt |
| 計測機器 | 868 | 923 | +56 | +6% | 140 | 147 | +7 | +5% | 16.1% | 15.9% | ▲0.2pt |
| 医用機器 | 186 | 199 | +14 | +7% | 15 | 20 | +5 | +33% | 8.2% | 10.2% | +2.0pt |
| 産業機器 | 185 | 161 | ▲24 | ▲13% | 26 | 20 | ▲7 | ▲25% | 14.3% | 12.3% | ▲2.0pt |
| 航空機器 | 94 | 83 | ▲10 | ▲11% | 11 | 15 | +4 | +41% | 11.5% | 18.2% | +6.7pt |

連結 / 営業利益増減要因 (7-9月)

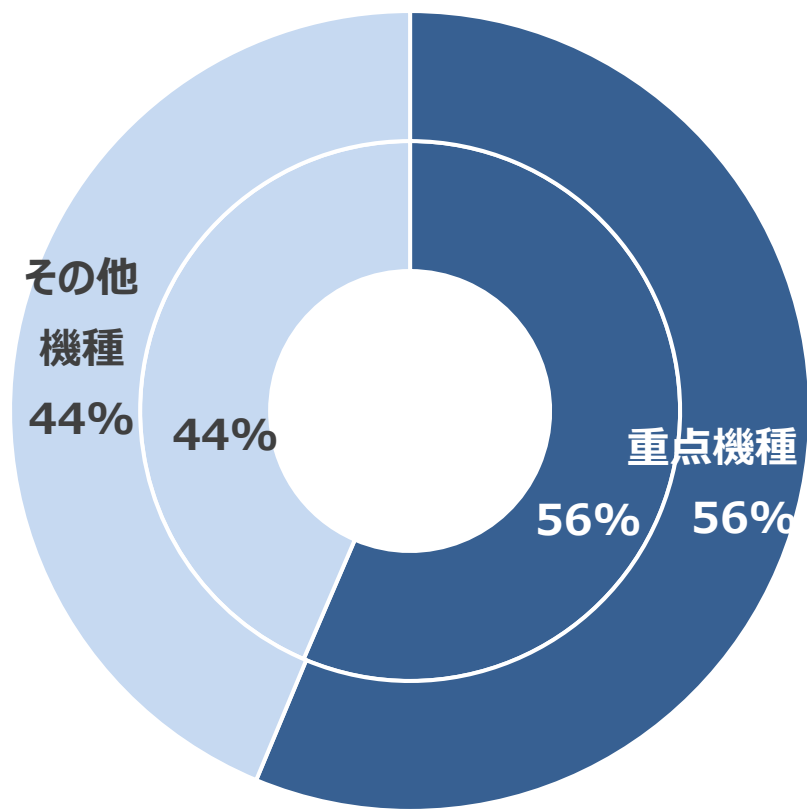
【営業利益】 **194億円(前期比+1%)** 【営業利益率】 **14.1% (対前期▲0.3pt)**

| | | |
|--------|------------------------------|-------|
| ■ 営業面 | : 増収や付加価値訴求により増加 | +41億円 |
| ■ 製造面 | : 生産効率向上が部材価格上昇を補えず横ばい | +0億円 |
| ■ 成長投資 | : 研究開発費などを13億円、人財投資を18億円増やした | ▲31億円 |
| ■ 関税影響 | : 関税増▲4億円、市況悪化に伴う減収による減益▲8億円 | ▲12億円 |

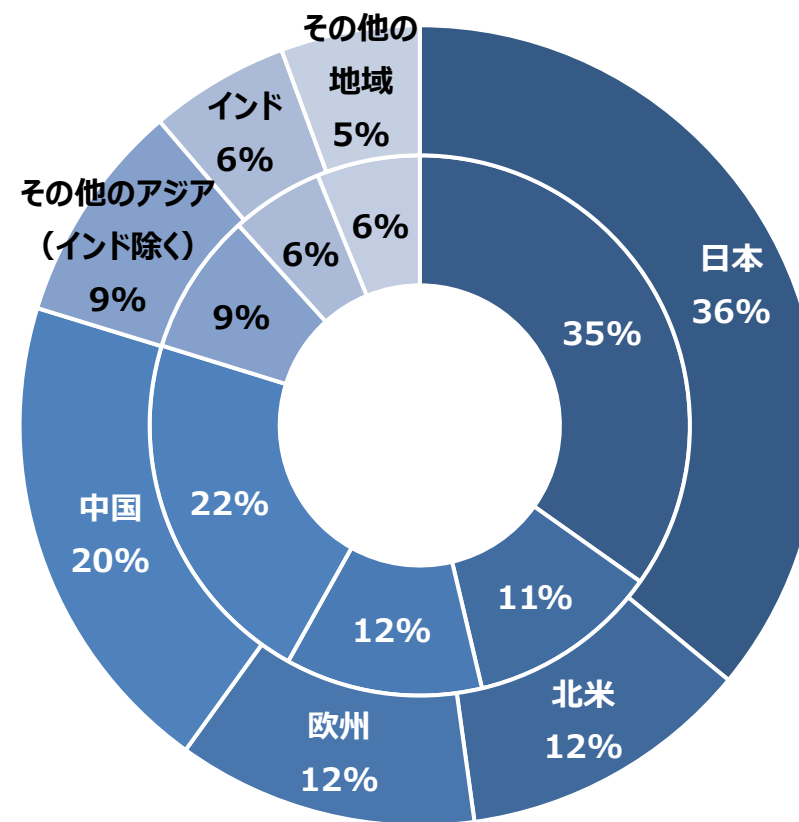


計測機器 / 各種売上高構成比率（4-9月）

機種別



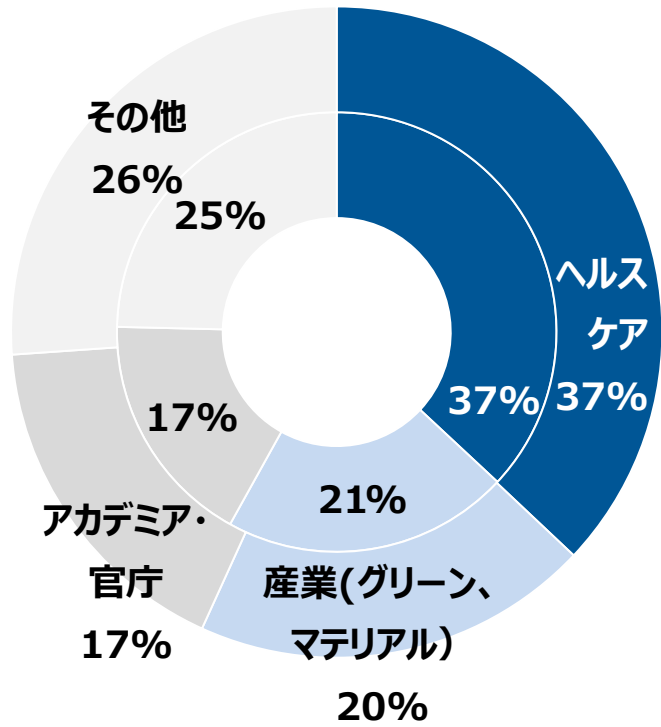
地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

計測機器 / 領域別売上高比率（4-9月）

市場別売上高構成比



| 市場と主な業界 | 構成比 | | 売上高 前年同期比 | 概況 |
|---|--------|--------|--------------|--|
| | FY2024 | FY2025 | | |
| ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業 | 37% | 37% | +5% | ・医薬・食品は日本・北米・東南アジア・インドで増加 ・臨床（医療機関）は北米で増加するも中国・欧州で減少 ・グローバルで増加 |
| 産業 （グリーン、マテリアル） ●化学・素材 ●電機 ●自動車 | 21% | 20% | ▲2% | ・日本で関税影響により自動車関連が減少 ・日本・欧州でGX関連でGCが増加 |
| アカデミア・官庁 | 17% | 17% | +3% | ・北米は政策影響で引き続き低調 ・官庁/大学向けに表面観察システムが伸長 |

※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

計測機器 / 重点機種売上高前期比



- 重点機種
- LC：日本・インドで医薬向けが増加。欧州で官庁・大学向けに増加
MS：日本で食品・大学向けに増加。中国で政府支援策を取り込み増加。
GC：日本・欧州で新製品が化学向けに増加。

| 為替影響を含む | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|------------|--------|------|------|-----|------|--------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| 重点機種 全体 | +18% | +13% | +12% | ▲2% | +10% | +3% | ▲2% | +2% | +8% | +3% | +3% | +5% |
| | +16% | +10% | +6% | +2% | +7% | +3% | ▲1% | +4% | +4% | +3% | +3% | +6% |

| 為替影響を除く | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|------------|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| 重点機種 全体 | +12% | +8% | +7% | ▲10% | +4% | ▲6% | ▲5% | ▲0% | +6% | ▲1% | +9% | +6% |
| | +11% | +6% | +2% | ▲4% | +3% | ▲5% | ▲3% | +3% | +3% | ▲0% | +7% | +7% |

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器 / 地域別売上高前期比

- 日本：LC、MS、GC、試験機が好調に推移
- 海外：北米・欧州はMSが好調。中国は官需をとらえてMSを中心に回復傾向

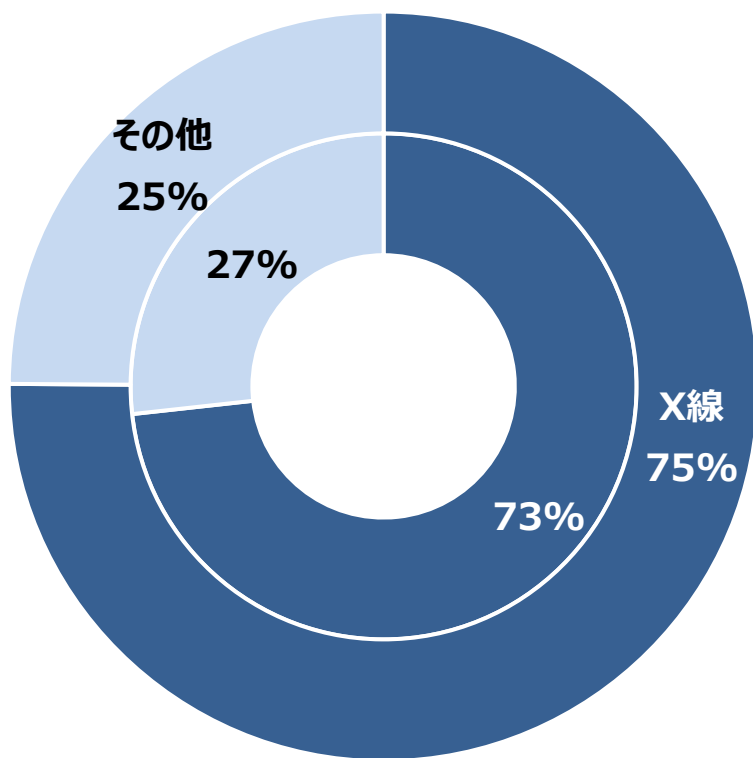
| 為替影響を含む | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|---------|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| 日本 | +5% | +10% | ▲3% | +6% | +5% | +5% | +2% | +12% | ▲2% | +3% | +4% | +11% |
| 北米 | +1% | +4% | ▲4% | +7% | +2% | +13% | +13% | +21% | +11% | +14% | +13% | +4% |
| 欧州 | +20% | +27% | +21% | +10% | +19% | +8% | +4% | +3% | +7% | +5% | +2% | +13% |
| 中国 | +31% | ▲4% | +6% | ▲21% | +1% | ▲5% | ▲19% | ▲10% | ▲2% | ▲9% | ▲8% | ▲1% |
| その他のアジア | +15% | +20% | +20% | +11% | +17% | +4% | +3% | +1% | +13% | +5% | +13% | +5% |
| インド | +27% | +14% | +32% | +8% | +20% | +20% | +25% | +4% | +24% | +17% | +16% | ▲1% |

| 為替影響を除く | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|---------|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| 日本 | +5% | +10% | ▲3% | +6% | +5% | +5% | +2% | +12% | ▲2% | +3% | +4% | +11% |
| 北米 | ▲4% | ▲1% | ▲8% | ▲4% | ▲4% | ▲0% | +9% | +17% | +7% | +8% | +22% | +5% |
| 欧州 | +11% | +13% | +10% | ▲3% | +8% | ▲4% | ▲0% | +0% | +7% | +1% | +4% | +9% |
| 中国 | +24% | ▲9% | +2% | ▲31% | ▲5% | ▲16% | ▲21% | ▲12% | ▲4% | ▲14% | ▲1% | +1% |
| その他のアジア | +10% | +15% | +15% | ▲0% | +10% | ▲7% | ▲0% | ▲1% | +12% | +1% | +21% | +7% |
| インド | +20% | +9% | +26% | ▲4% | +12% | +6% | +20% | +0% | +21% | +11% | +25% | +0% |

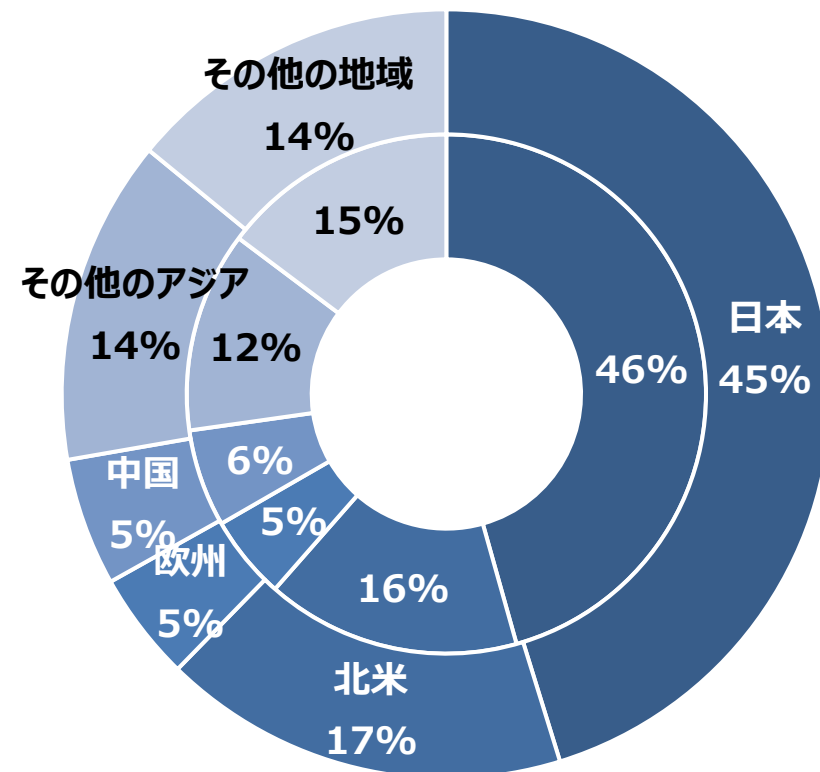
| | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|--------------------|--------|------|------|-----|------|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| ヘルスケア | +24% | +7% | ▲4% | ▲8% | +3% | +1% | ▲4% | +5% | +11% | +3% | +2% | +7% |
| 産業 (グリーン、マテリアル) | +15% | +8% | +6% | +5% | +8% | +7% | +2% | +2% | +8% | +5% | ▲6% | +1% |
| アカデミア/官庁 | +20% | +25% | +23% | ▲2% | +14% | ▲2% | ▲8% | ▲8% | ▲7% | ▲6% | +9% | ▲1% |

※為替影響を含む

機種別



地域別



※円グラフ外側はFY2025実績、内側はFY2024実績を示す

| 単位 億円 | | FY2024 | FY2025 | 前年同期比 | | 概況（中間期） |
|-------------|-----|--------|--------|-------|------|---|
| | | | | 増減額 | 増減率 | |
| 日本 | 中間期 | 155 | 152 | ▲3 | ▲2% | ・ 前年の大口案件の反動減で放射線治療支援システムが減少 ・ 新製品効果で一般撮影システムが増加 |
| | 1Q | 70 | 70 | +0 | +1% | |
| | 2Q | 85 | 82 | ▲4 | ▲4% | |
| 海外 | 中間期 | 185 | 184 | ▲1 | ▲0% | ・ 海外売上高比率は、54.8%と前年同期比0.4pt増加 |
| | 1Q | 85 | 66 | ▲18 | ▲21% | |
| | 2Q | 100 | 118 | +17 | +17% | |
| 北米 | 中間期 | 54 | 57 | +4 | +7% | ・ X線TVシステムや血管撮影システムが新製品効果で伸長 |
| | 1Q | 24 | 23 | ▲1 | ▲2% | |
| | 2Q | 30 | 34 | +4 | +14% | |
| 欧州 | 中間期 | 18 | 15 | ▲2 | ▲13% | ・ 東欧での官公庁予算執行の遅延により減少 |
| | 1Q | 10 | 4 | ▲6 | ▲63% | |
| | 2Q | 8 | 12 | +4 | +51% | |
| 中国 | 中間期 | 21 | 18 | ▲3 | ▲13% | ・ 国家標準規格変更への対応が必要となり、血管撮影システムなどが減少 |
| | 1Q | 9 | 9 | ▲0 | ▲3% | |
| | 2Q | 12 | 9 | ▲2 | ▲20% | |
| その他の アジア | 中間期 | 43 | 46 | +3 | +8% | ・ 低被ばくかつ高画質な画像が評価されX線TVシステムや血管撮影システムが増加 |
| | 1Q | 18 | 14 | ▲4 | ▲20% | |
| | 2Q | 25 | 32 | +7 | +28% | |

医用機器 / 地域別売上高前期比

- 日本：X線機種は新製品効果で増加。放射線治療装置用動体追跡システムが前年の反動で減少
- 海外：北米・その他のアジアでX線TVシステムが増加。中国は市況回復遅れと規制対応により減少

| 為替影響を含む | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|---------|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| 日本 | ▲24% | ▲20% | +7% | ▲17% | ▲15% | ▲1% | ▲3% | ▲5% | +3% | ▲1% | +1% | ▲4% |
| 北米 | ▲18% | +11% | ▲2% | +0% | ▲1% | +37% | ▲8% | ▲6% | +40% | +14% | ▲2% | +14% |
| 欧州 | +16% | ▲7% | +41% | +0% | +12% | +11% | ▲30% | +3% | ▲44% | ▲14% | ▲63% | +51% |
| 中国 | +24% | +38% | +7% | ▲5% | +15% | ▲36% | ▲29% | ▲36% | ▲22% | ▲31% | ▲3% | ▲20% |
| その他のアジア | +20% | ▲28% | +10% | +27% | +3% | +15% | +47% | +1% | +16% | +19% | ▲20% | +28% |

| 為替影響を除く | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|---------|--------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| 日本 | ▲24% | ▲20% | +7% | ▲17% | ▲15% | ▲1% | ▲3% | ▲5% | +3% | ▲1% | +1% | ▲4% |
| 北米 | ▲23% | +6% | ▲6% | ▲10% | ▲7% | +21% | ▲12% | ▲8% | +35% | +8% | +5% | +16% |
| 欧州 | +7% | ▲18% | +28% | ▲11% | +1% | ▲1% | ▲32% | ▲1% | ▲42% | ▲17% | ▲62% | +47% |
| 中国 | +17% | +32% | +3% | ▲17% | +8% | ▲43% | ▲32% | ▲37% | ▲24% | ▲34% | +5% | ▲18% |
| その他のアジア | +14% | ▲31% | +6% | +16% | ▲2% | +5% | +41% | ▲0% | +13% | +14% | ▲14% | +32% |

- TMP : 半導体製造装置向けが減少
- 油圧 : 日本で産業車両向けが好調で増加
- その他機種 : 日本・中国・韓国でセラミック製造向け工業炉が減少

| 為替影響を含む | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|---------|--------|-----|------|------|-----|--------|------|------|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| TMP | ▲3% | +0% | ▲0% | +15% | +3% | +27% | +7% | +10% | +12% | +14% | +3% | ▲2% |
| 油圧 | +10% | +8% | ▲4% | +1% | +3% | ▲4% | ▲4% | ▲2% | ▲1% | ▲3% | ▲3% | +6% |
| その他 | ▲2% | +2% | +10% | +11% | +6% | +29% | +42% | +7% | ▲16% | +12% | ▲19% | ▲39% |

| 為替影響を除く | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|---------|--------|-----|-----|-----|-----|--------|------|-----|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| TMP | ▲7% | ▲4% | ▲4% | +6% | ▲2% | +17% | +5% | +9% | +11% | +10% | +8% | ▲3% |
| 油圧 | +9% | +7% | ▲6% | ▲2% | +2% | ▲7% | ▲5% | ▲3% | ▲1% | ▲4% | ▲1% | +6% |
| その他 | ▲4% | +1% | +8% | +6% | +3% | +22% | +40% | +5% | ▲16% | +10% | ▲16% | ▲38% |

※FY2024Q1より、従来「航空機器」に含まれていた海洋関連機器の業績を、「産業機器」へ移管。
FY2024およびFY2023の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で、FY2024/FY2023の前期比較においては、前年の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較。

リカーリング比率

- 計測 : 日本・中国で医薬向け、欧州で臨床向けメンテナンス・サービスが増加
- 医用 : 北米・欧州・東南アジアで部品・サービスとも増加
- TMP : 日本・中国・台湾で顧客カバー率向上により増加

| 計測 | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|------------------|--------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|------|-----|-----|--------|-----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| リカーリング売上高 前期比 | +10% | +3% | ▲4% | ▲2% | +1% | +0% | +4% | +10% | +7% | +6% | +10% | +6% |
| リカーリング比率 | 39% | 35% | 37% | 34% | 36% | 41% | 38% | 40% | 35% | 38% | 42% | 38% |

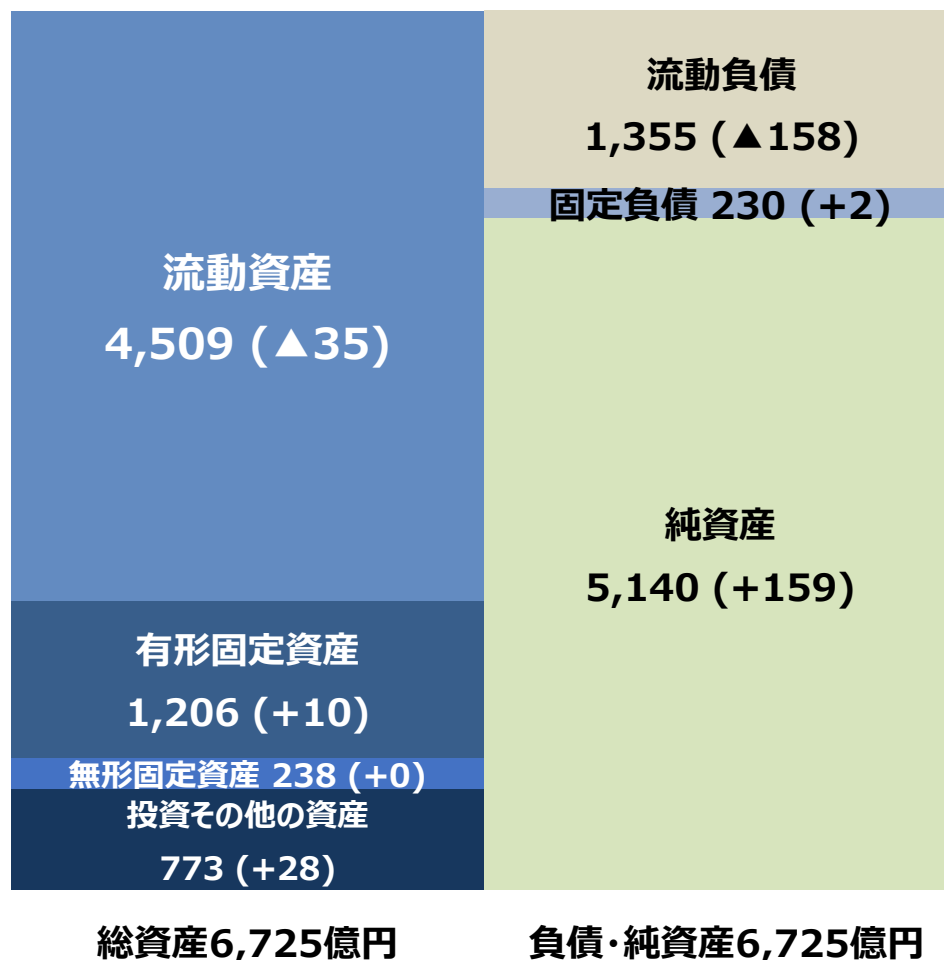
| 医用 | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|------------------|--------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|--------|-----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| リカーリング売上高 前期比 | ▲3% | ▲7% | +1% | +0% | ▲2% | ▲1% | +0% | ▲0% | +4% | +1% | +6% | +5% |
| リカーリング比率 | 42% | 34% | 37% | 33% | 36% | 41% | 36% | 40% | 34% | 37% | 47% | 35% |

| TMP | FY2023 | | | | | FY2024 | | | | | FY2025 | |
|------------------|--------|-----|------|------|-----|--------|------|------|------|------|--------|------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | FY | 1Q | 2Q |
| リカーリング売上高 前期比 | ▲9% | ▲8% | +10% | +36% | +6% | +46% | +50% | +34% | +28% | +38% | +24% | +23% |
| リカーリング比率 | 15% | 14% | 18% | 17% | 16% | 19% | 19% | 22% | 19% | 20% | 21% | 25% |

連結財政状態（中間連結貸借対照表）

- 2025年9月末総資産 6,725億円（2025年3月末から+3億円）
- 売上債権の回収により、流動資産が減少

(億円)
増減は2025年
3月末対比



資産

流動資産 ▲35億円

- 現金 +88億円
- 売上債権 ▲180億円

負債・純資産

流動負債 ▲158億円

- 支払債務 ▲83億円

純資産 +159億円

- 利益剰余金 +119億円

自己資本比率 76.4% (+2.3pt)